若 潮 わかしお

崎辺中学校
校長室だより

令和２年　８月２５日(火)　No．２６　文責　萩原郁子

教育目標　「確かな学力をもち、心豊かで、
逞しく生き抜く生徒の育成」
校　　訓　「質実剛健　親和敬愛」

人権・平和学習特集

これまで、生徒会を中心に全学年で実行委員会を編成して行っていた人権・平和学習と集会を、今年度から学年割り当てにして行うことにしました。各学年が責任をもって学習や集会の企画、運営を行うことで、より生徒１人１人の意識を高める、学年の成長段階に即したリーダーシップを育成することができます。また、学年として動きやすくまとまって活動できるというメリットがあります。割り当ては以下のようにしています。

○　６．２９　佐世保空襲平和集会　　～　３年生
○　８．９　　長崎原爆の日平和集会　～　２年生
○　１２月　　人権集会　　～　１年生

3年生　佐世保空襲を考える～6.29　平和集会～

６月２９日は、今から７５年前に大空襲が佐世保を襲った日です。今回、３年生がこの６．２９平和集会を企画し、戦争と平和について考えました。

かつて、佐世保空襲を語る会の方の講演を聞いたことがあります。当時、１３歳の女学校生徒だったその方は、突然の空襲に驚き、焼い弾におびえながらも５年生の妹の手を引いて、防空壕に逃げ込みました。命からがら逃げて助かったものの、空襲後の佐世保の惨状にがく然とします。焼け野原、山積みの焼死体、鼻をつく異臭・・。小さな子どもの目にはあまりに残酷な情景。「助けて」とうめきながら目の前で亡くなった女の人や、死んだ赤ちゃんにいつまでもおっぱいをやる母親の姿は、一生忘れられないそうです。

悲惨で残酷なお話の中には、救われるような話もありました。安否を心配して他の地区を見回る人々の姿。焼け出された人々に「元気を出そう」と言って米一俵を持ってきてきてくれた地主さん。ごはんを分け合い、いわしの缶詰と一緒に食べたこのときのおいしさは、今の贅沢な食事の何倍も勝っていたそうです。悲惨な戦争のさなかにもなお息づく人間の温かさは、一筋の救いの光と言えます。

今、戦争体験者が少なくなって直接、体験談を聞く機会が減っていますが、私たちは決して戦争の悲惨さ、平和の尊さを忘れてはいけません。小さな争い、小さな差別が戦争の根本です。だからいじめをしない、けんかをしない。皆さんにはこれを守ってほしいと思います。皆さんは、未来の平和な社会づくりを託されています。これからも戦争、平和について学び、考えてほしいと思います。

逃げ惑う人々の様子や特に被害がひどかった地区など、３年生が調べたことを発表してくれました。

2年生　原爆、戦争と平和を考える～8.9　平和集会～

史上初めて原子爆弾が人類に投下され、広島に黒い雨を降らせたわずか３日後。夾竹桃の赤い花に、じりじりと真夏の太陽が容赦なく降り注ぐ７５年前の８月９日。私たちのふるさと、この長崎の地で、人類は再び原子爆弾の脅威にさらされました。
『あの日』午前１１時２分、上空で炸裂した１発の原子爆弾は、長崎の市民、子ども、約七万四千の命を奪ったたけでなく、戦後７５年も経った今も、多くの被爆者の命を脅かし続けています。

さて、私たちのこの平和な社会は、簡単に実現したわけではありません。明治、大正、昭和と、繰り返し勃発した戦争の中で亡くなったたくさんの方々、激しい戦禍をくぐり抜けて生き抜き、戦後、日本社会の立て直しにひたすら働いてきた方々の苦労の上に築かれた今日の社会なのです。その方々こそ、皆さんのおじいさんおばあさん、また、ひいおじいさん、ひいおばあさんの世代の方達です。
いつも皆さんにやさしくしてくれて、皆さんが甘えてばかりいるおじいさん、おばあさんの若かった頃の戦争の体験やその時の思いを考えてみてください。

平和な社会に生きている私たちに、今こそ必要なのは「想像力」です。日常生活でも、想像力のない人は、人の気持ちを考えきれず、人を傷つける言動をとってしまいます。戦争の怖さ、つらさ、苦しさ、悲しさ…。それらを想像し実感して、自分達のこととして捉えることが、二度と戦争の過ちを起こさないことにつながっていくと考えます。
皆さんは、まず、身近なおじいさん、おばあさんに戦争体験について尋ね、その時の気持ちを想像してみてください。そして、おじいさん、おばあさんから引き継がれた自分の命と平和の大切さを重く受け止めてほしいと思います。

これまで、たくさんの被爆者が訴えてきた平和への強い願いがかなって、少しでも平和な世界の実現に近づけることを願います。それは、まだまだ長い道のりかもしれません。しかし、今の世界の動きが、皆さんが生きる将来の世界を作るのです。だから、皆さんは、社会に、そして世界にいつも目を向けなさい。決して無関心であってはいけません。もうすでに皆さんとそう年齢の変わらない世代の人たちが平和な世界の実現に向けて動き出しています。自分にできること、しなければならないことを考え行動に移してほしいと思います。

崎辺中学校平和宣言（抜粋）

◎私は、誰からも傷つけられたくない。
　だから、どんな理由があろうとも、人に暴力をふるったりしません。
◎私は、自分の努力ではどうしようもないことで、人からあれこれ言われたくはない。
　だから、人の体つきや顔かたち、能力について不当な差別をしません。
◎私は、他人の心無い言葉で傷つけられたくはない。
　だから、人を無視したり、嫌みや悪口、陰口、嫌なあだ名を言ったりしません。
周りの人を、尊重し思いやり、誰もが安心して生き生きと生活できる本当に平和な世の中を築くために、私たちはお互いの違いを認め合い、一人一人を大切にしていくことをここに誓います。

２０２０年８月９日　８・９平和集会　崎辺中学校生徒一同

担当の２年生は、全校生徒に平和に関する意識調査を行い、平和新聞づくりに取り組みました。そして、崎辺中学校平和宣言を作成して採択されました。また、美術部も平和ポスター制作に取り組み、新聞とあわせて現在、玄関に掲示しています。本日、集会を行い、みんなで戦争・平和について真剣に考える取組となりました。